

## 2 中学生意識調査

### 2-1 回答者の属性

回答者の属性（学校、学年、性別）は以下のとおりです。

図表 2-1-1 学校

区分	回答数(人)	割合(%)
武豊中学校	563	71.7%
富貴中学校	222	28.3%
無回答	0	0.0%
計	785	100.0%

図表 2-1-2 学年

区分	回答数(人)	割合(%)
1年生	398	50.7%
2年生	387	49.3%
無回答	0	0.0%
計	785	100.0%

図表 2-1-3 性別

区分	回答数(人)	割合(%)
男性	396	50.4%
女性	384	48.9%
無回答	5	0.6%
計	785	100.0%

### 2-2 武豊町の暮らしやすさ

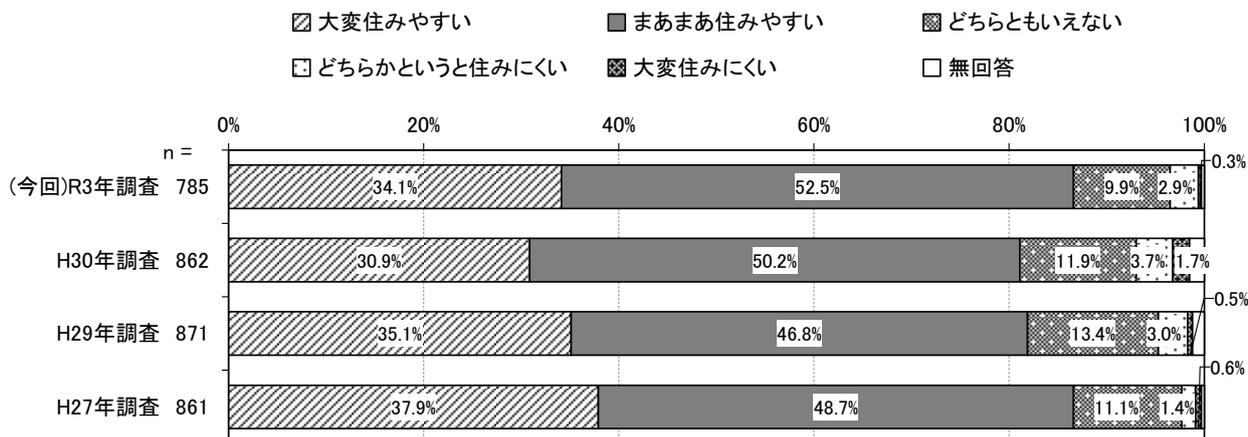
#### (1) 住みごころ

問1 武豊町に住んでいてどう思いますか。(1つに○印)

「大変住みやすい」が 34.1%、「まあまあ住みやすい」が 52.5%で、両者をあわせた割合は 86.6%となります。9割近くが武豊町は住みやすいと評価しています。一方、「大変住みにくい」は 0.3%、「どちらかというと住みにくい」は 2.9%と少数でした。

平成 30 年調査では、「大変住みやすい」が 30.9%、「まあまあ住みやすい」が 50.2%で、両者をあわせた割合は 81.1%でした。また、平成 29 年調査では、81.9%、平成 27 年調査では 86.6%でした。住みやすいとの評価は平成 27 年以降わずかながら低下する傾向がみられましたが、今回の調査では上昇し、平成 27 年の水準に戻っています。

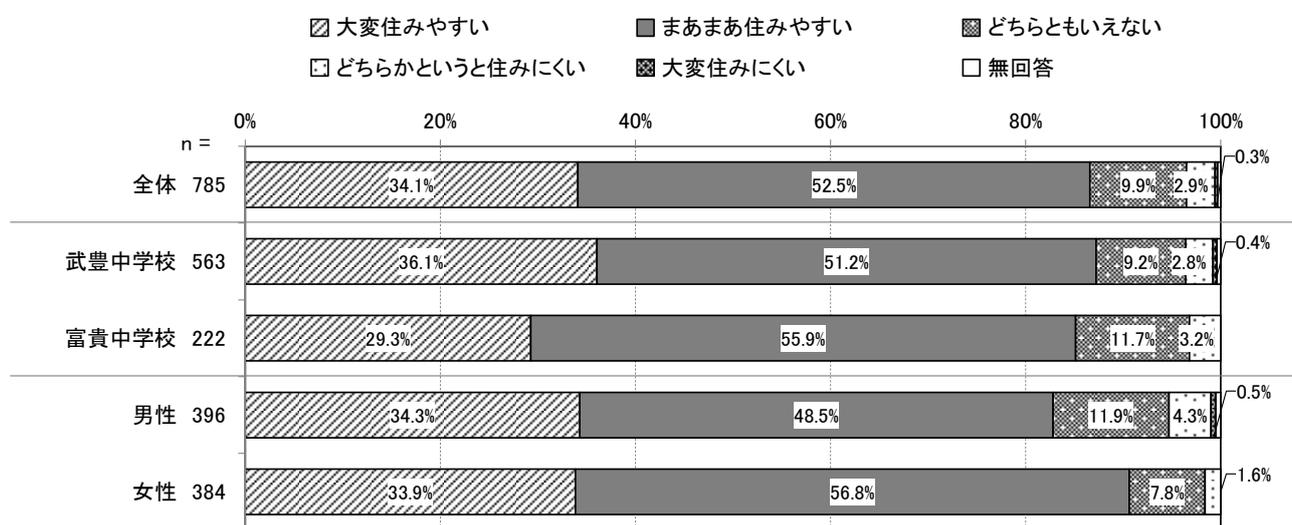
図表 2-2-1 住みごころ（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別（学校別、性別）に傾向をみていきます。

学校別	<p>○「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合は、武豊中学校で 87.3%、富貴中学校では 85.2%で、武豊中学校の方がわずかに 2.1 ポイント高くなっています。</p> <p>○「大変住みやすい」で比較しても、武豊中学校の 36.1%に対し、富貴中学校は 29.3%で、武豊中学校の方が 6.8 ポイント高くなっています。</p>
性別	<p>○「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合をみると、男性は 82.8%、女性は 90.7%であり、女性の方が 7.9 ポイント高くなっています。</p> <p>○「大変住みやすい」は男性 34.3%、女性 33.9%で大きな差はありませんが、「まあまあ住みやすい」は男性の 48.5%に対し、女性は 56.8%で、女性の方が 8.3 ポイント高くなっています。女性は「まあまあ住みやすい」とする評価が高いことが特徴です。</p>

図表 2-2-2 属性別、住みごち



## (2) 今後の居住意向

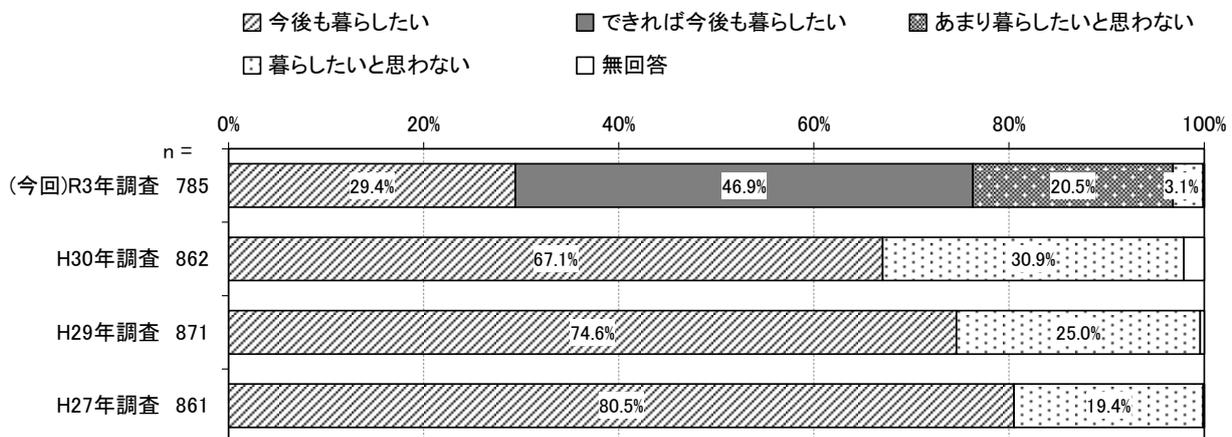
問2 今後も武豊町で暮らしたいと思いますか。(1つに○印)

「今後も暮らしたい」は29.4%、「できれば今後も暮らしたい」は46.9%で、両者をあわせた割合は76.3%となっています。

過去調査では、「今後も暮らしたい」と「暮らしたいとは思わない」の2つの選択肢で今後の居住意向をたずねています。これをみると「今後も暮らしたい」は平成27年調査で80.5%、平成29年調査で74.6%、平成30年調査で67.1%です。今後の居住意向は徐々に低下していましたが、今回調査では、「今後も暮らしたい」と「できれば今後も暮らしたい」の合計は76.3%となり、平成30年調査の67.1%から9.2ポイント高くなっています。

なお、「暮らしたいとは思わない」は3.1%、「あまり暮らしたいと思わない」は20.5%で、両者をあわせた割合は23.6%でした。

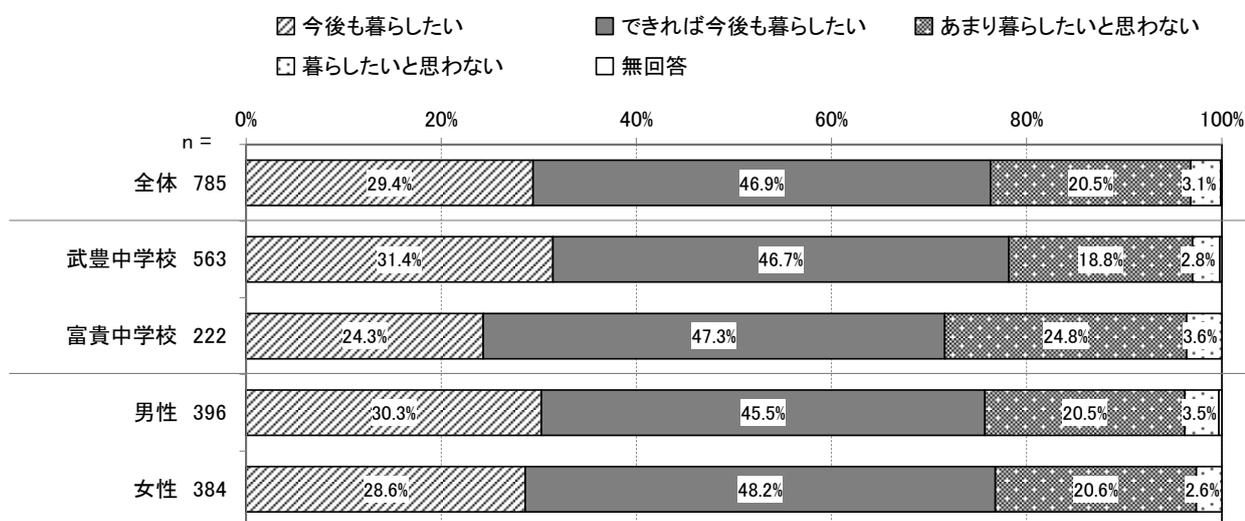
図表 2-2-3 今後の居住意向（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	<p>○「今後も暮らしたい」と「できれば今後も暮らしたい」をあわせた割合は、武豊中学校は78.1%、富貴中学校は71.6%です。武豊中学校の方が6.5ポイント高くなっています。</p> <p>○「今後も暮らしたい」を両者で比較すると、武豊中学校の31.4%に対し、富貴中学校は24.3%で、武豊中学校が7.1ポイント上回っています。</p>
性別	<p>○「今後も暮らしたい」と「できれば今後も暮らしたい」をあわせた割合を男女で比較すると、男性は75.8%、女性は76.8%で顕著な差異はみられません。</p> <p>○「今後も暮らしたい」で比較しても、男性は30.3%、女性は28.6%で大きな差異はみられません。</p>

図表 2-2-4 属性別、今後の居留意向



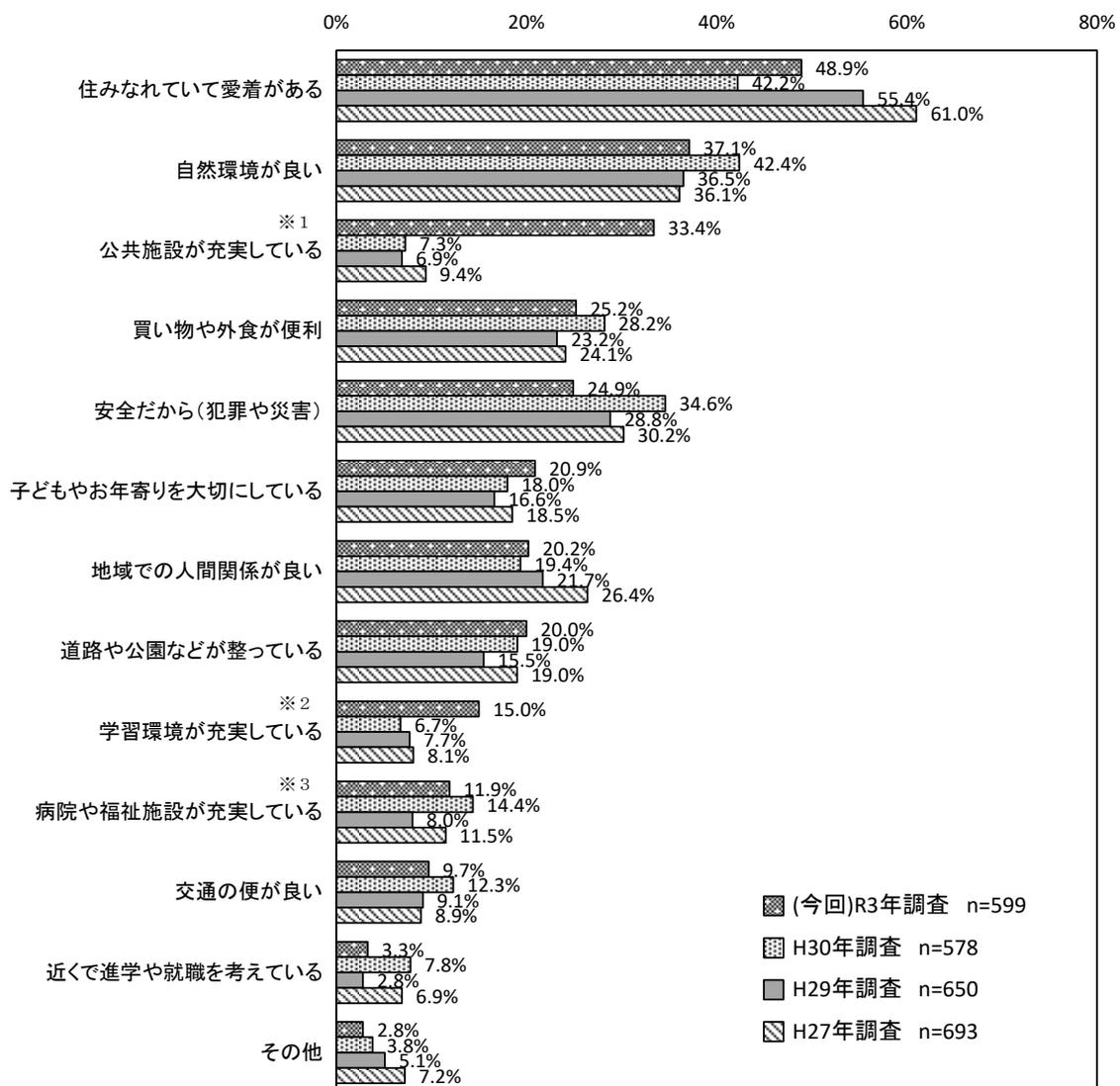
### (3) 武豊町で暮らしたい理由

問 2-1 武豊町で暮らしたいと思う理由は何ですか。(3つまでに○印)

「今後も暮らしたい」または「できれば今後も暮らしたい」と回答した 599 人にその理由をたずねたところ、「住みなれていて愛着がある」が 48.9%と最も高く、5割近くの回答を得ました。次いで「自然環境が良い」が 37.1%、「公共施設（図書館、町民会館、体育館など）が充実している」が 33.4%で、この2つが3割を超えています。

過去調査では、「住みなれていて愛着がある」は、平成 27 年調査で 61.0%であったものが、平成 29 年調査で 55.4%、平成 30 年調査で 42.2%と低下する傾向がみられましたが、今回の調査では5割近くにまで回復したかたちとなっています。

図表 2-2-5 武豊町で暮らしたい理由（過去調査との比較） -複数回答（3つまで）-



※1：「公共施設が充実している」は、今回調査から「公共施設（図書館、町民会館、体育館など）が充実している」として、○内に施設名を例示して回答を求めた。

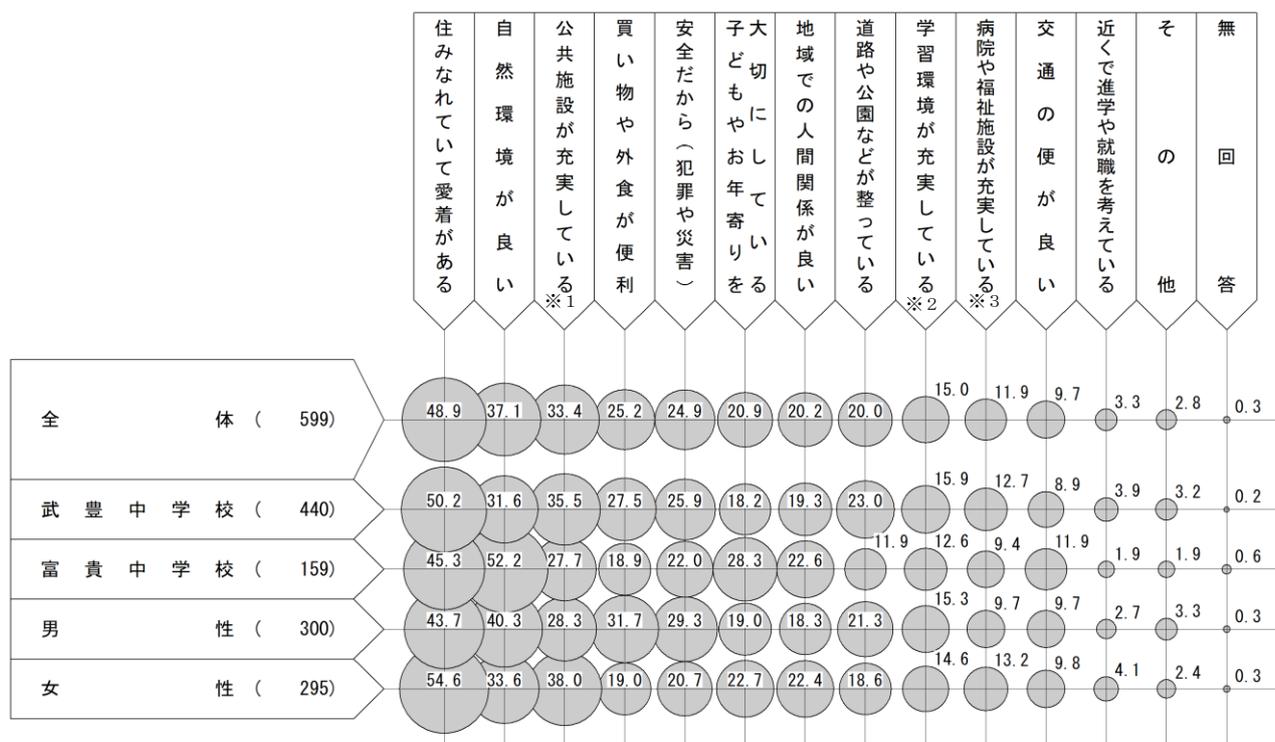
※2：「学習環境が充実している」は、過去調査では「子どもの教育環境が良い」としていた。

※3：「病院や福祉施設が充実している」は、過去調査では「医療・福祉サービスが充実している」としていた。

以下、回答者の属性別に「今後も暮らしたい」または「できれば今後も暮らしたい」の理由について傾向をみていきます。

学校別	<p>○武豊中学校では、「住みなれていて愛着がある」が50.2%で最も多く、次いで「公共施設（図書館、町民会館、体育館など）が充実している」の35.5%、「自然環境が良い」の31.6%となっています。</p> <p>○富貴中学校では、「自然環境が良い」が52.2%で最も多く、次いで「住みなれていて愛着がある」の45.3%となっています。「自然環境が良い」は富貴中学校の方が20.6ポイントも高くなっています。</p> <p>○武豊中学校では「公共施設が充実している」が35.5%であるのに対して、富貴中学校では27.7%で、武豊中学校の方が7.8ポイント高くなっています。</p> <p>○武豊中学校では「買い物や外食が便利」が27.5%で、富貴中学校の18.9%を8.6ポイント上回っています。また、富貴中学校では「子どもやお年寄りを大切にしている」が28.3%で、武豊中学校の18.2%を10.1ポイント上回っています。</p>
性別	<p>○男性も女性も「住みなれていて愛着がある」が最も多くなっていますが、女性が54.6%であるのに対して、男性は43.7%で、女性が10.9ポイント上回っています。</p> <p>○男性では、「自然環境が良い」が40.3%で二番目に多く、女性の33.6%を6.7ポイント上回っています。</p> <p>○女性では、「公共施設が充実している」が38.0%で二番目に多く、男性の28.3%を9.7ポイント上回っています。</p>

図表 2-2-6 属性別、武豊町で暮らしたい理由 -複数回答（3つまで）-



※：「公共施設が充実している」、「学習環境が充実している」、「病院や福祉施設が充実している」について、図表 2-2-5 に同じ。

#### (4) 武豊町で暮らしたいと思わない理由

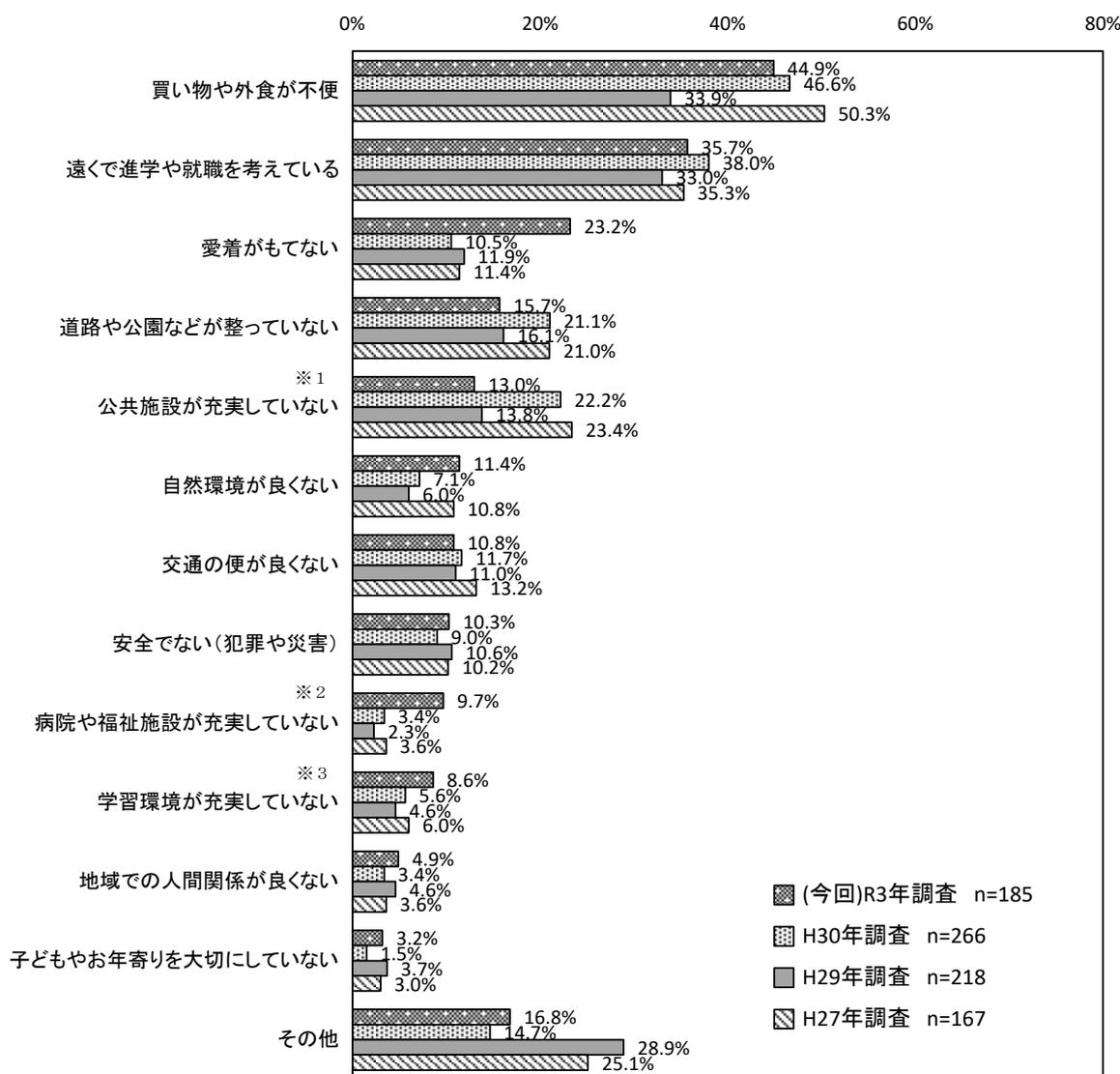
問2-2 武豊町で暮らしたいと思わない理由は何ですか。(3つまでに○印)

「暮らしたいと思わない」または「あまり暮らしたいと思わない」と回答した185人にその理由をたずねたところ、「買い物や外食が不便」が44.9%で最も多く、次いで「遠くで進学や就職を考えている」が35.7%で、この2つが大きな理由となっています。さらに、「愛着がもてない」が23.2%となっています。

「買い物や外食が不便」、「遠くで進学や就職を考えている」は、前回調査(平成30年)の結果(それぞれ46.6%、38.0%)と大きな違いはみられません。また「愛着がもてない」は、過去調査では10%程度でしたが、今回は23.2%と大きく増加しています。

図表 2-2-7 武豊町で暮らしたいと思わない理由(過去調査との比較)

-複数回答(3つまで) -



※1: 「公共施設が充実していない」は、今回調査から「公共施設(図書館、町民会館、体育館など)が充実していない」として、( )内に施設名を例示して回答を求めた。

2: 「病院や福祉施設が充実していない」は、過去調査では「医療・福祉サービスが充実していない」としていた。

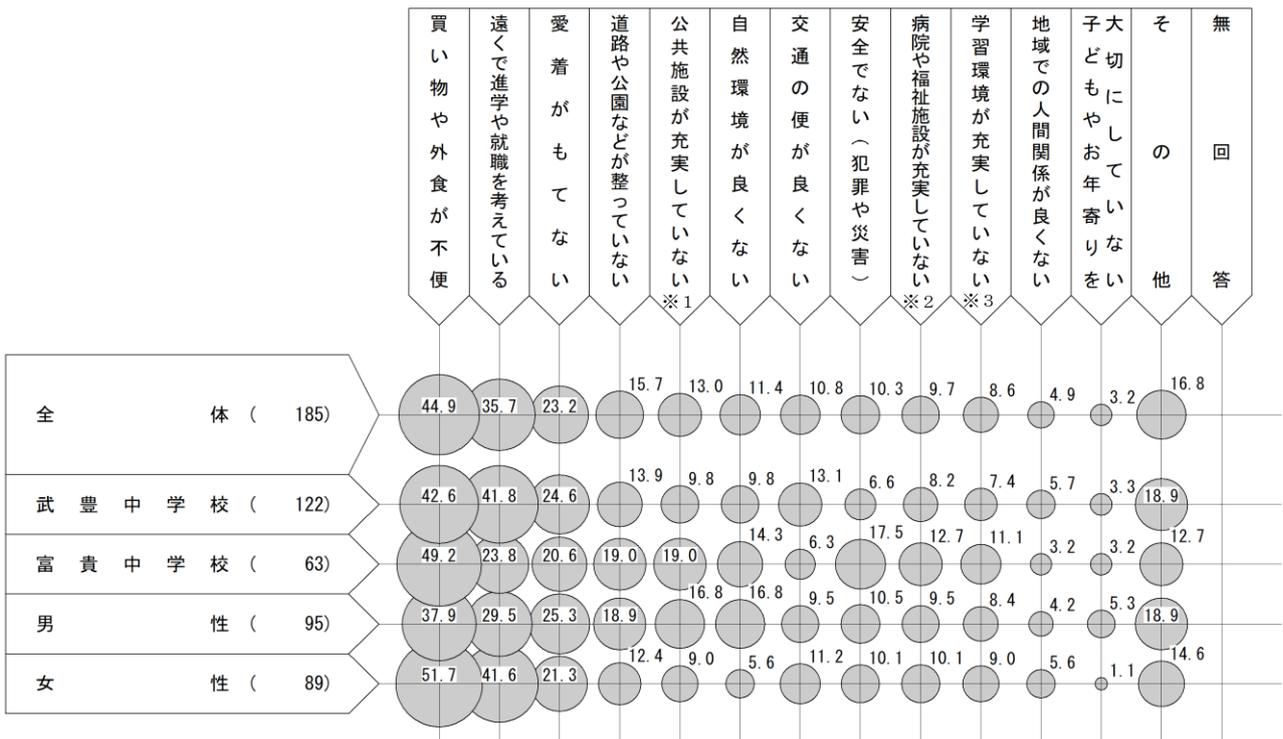
3: 「学習環境が充実していない」は、過去調査では「子どもの教育環境が良くない」としていた。

以下、回答者の属性別に、「暮らしたいと思わない」理由の傾向をみていきます。

学校別	<p>○武豊中学校でも富貴中学校でも、「買い物や外食が不便」が最も多くなっていますが、武豊中学校の42.6%に対して、富貴中学校では49.2%で、富貴中学校の方が6.6ポイント高くなっています。</p> <p>○武豊中学校でも富貴中学校でも二番目に多いのは、「遠くで進学や就職を考えている」ですが、武豊中学校は41.8%、富貴中学校は23.8%で、両者に18.0ポイントの開きがあり顕著な違いとなっています。</p>
性別	<p>○男性も女性も「買い物や外食が不便」、「遠くで進学や就職を考えている」が多くなっていますが、「買い物や外食が不便」については、女性が51.7%、男性が37.9%で、女性の方が13.8ポイント高くなっています。</p> <p>○同様に、「遠くで進学や就職を考えている」については、女性が41.6%、男性が29.5%で、ここでも女性の方が12.1ポイント上回っています。</p>

図表 2-2-8 属性別、武豊町で暮らしたいと思わない理由（過去調査との比較）

-複数回答（3つまで）-



※：「公共施設が充実していない」、「病院や福祉施設が充実していない」、「学習環境が充実していない」について、図表 2-2-7 に同じ。

## 2-3 幸福度

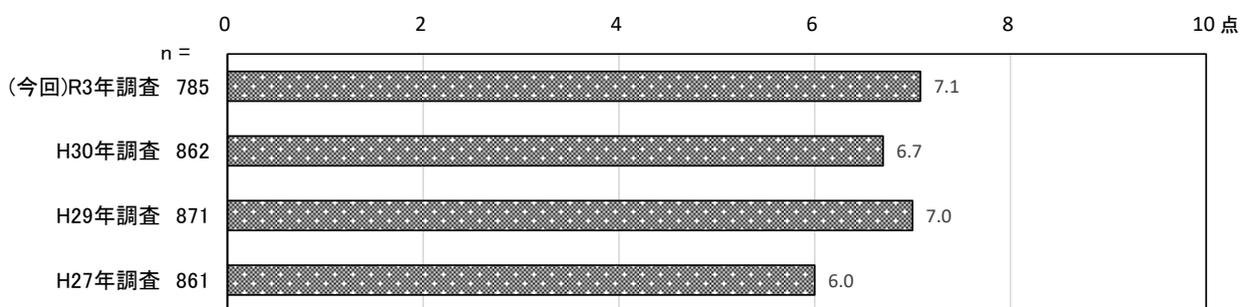
### (1) 現在の幸福度

問3 あなたは、今、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(あてはまる数字1つに○印)

10点を満点として幸福度をたずねたところ、「7点」が20.6%で最も高く、次いで「8点」の17.8%、「10点」の14.8%となりました。平成30年調査と比較して、「7点」、「8点」、「9点」、「10点」はいずれも割合が高くなっています。

平均点は7.1点で、平成30年調査の6.7点と比べ0.4ポイント上がりました。なお、平成29年調査では7.0点、平成27年調査では6.0点でした。

図表 2-3-1 現在の幸福度（過去調査比較）

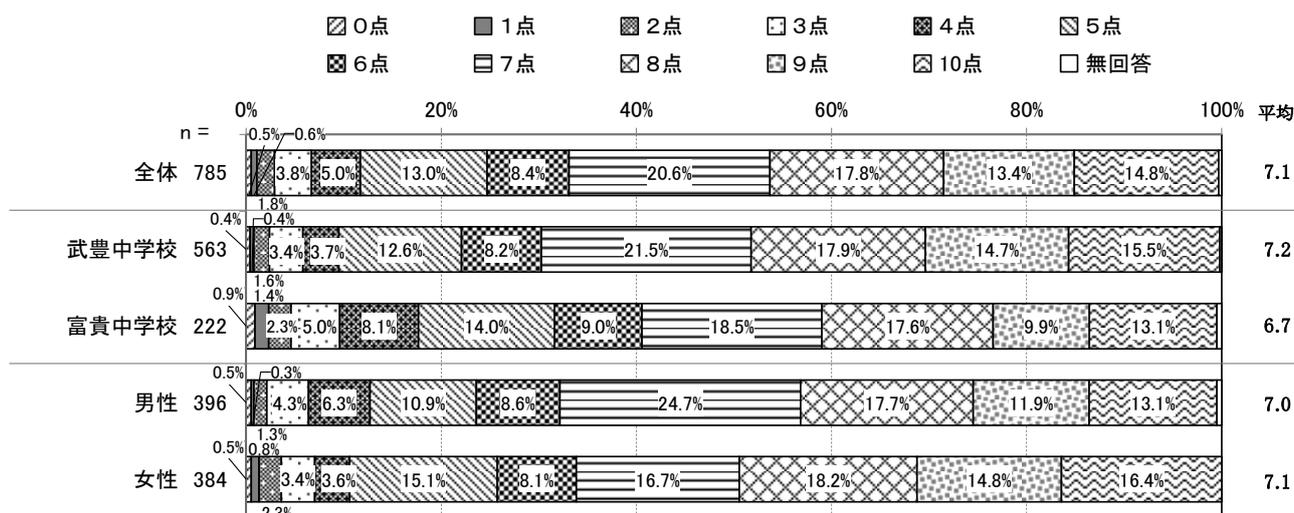


No.	幸福度 (評点)	令和3年		平成30年	平成29年
		n	%	%	%
1	0点	4	0.5%	1.4%	0.9%
2	1点	5	0.6%	1.0%	1.0%
3	2点	14	1.8%	1.5%	0.8%
4	3点	30	3.8%	3.6%	3.6%
5	4点	39	5.0%	6.1%	4.5%
6	5点	102	13.0%	17.5%	15.2%
7	6点	66	8.4%	10.6%	10.3%
8	7点	162	20.6%	18.7%	17.9%
9	8点	140	17.8%	17.4%	18.7%
10	9点	105	13.4%	8.2%	10.4%
11	10点	116	14.8%	13.3%	16.4%
無回答		2	0.3%	0.6%	0.3%
平均点		783	7.1点	6.7点	7.0点
全体		785	100.0%	100.0%	100.0%

以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	<p>○武豊中学校では、「7点」が21.5%で最も多く、次いで「8点」が17.9%、「10点」が15.5%、「9点」が14.7%の順になっています。</p> <p>○富貴中学校では、「7点」が18.5%で最も多く、次いで「8点」の17.6%となっていますが、3番目に多いのは「5点」の14.0%となっており、武豊中学校とはやや異なっています。</p> <p>○平均点でみると、武豊中学校が7.2点、富貴中学校が6.7点で0.5ポイントの差で武豊中学校がわずかですが高くなっています。</p>
性別	<p>○男性では、「7点」の24.7%が特に高く、次いで「8点」の17.7%、「10点」の13.1%、「9点」の11.9%と続いています。</p> <p>○女性では、「8点」が最も多く18.2%となっています。次いで、「7点」が16.7%、「10点」が16.4%となっており、その次は「5点」の15.1%となっています。</p> <p>○平均点でみると、男性は7.0点、女性は7.1点で、男女による差異はありません。</p>

図表 2-3-2 属性別、現在の幸福度



## (2) 幸福感を判断する際に重視した事項

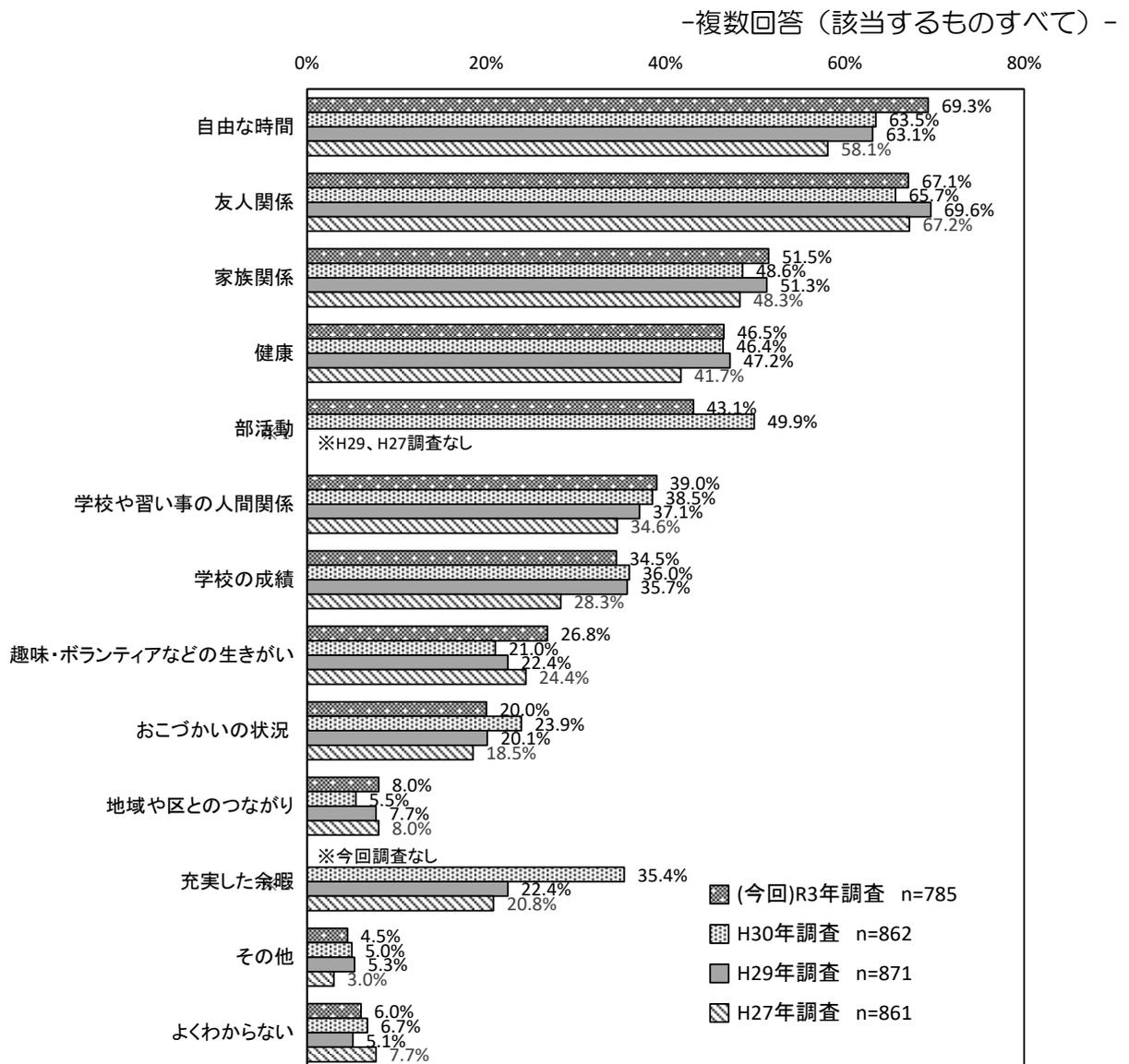
問4 あなたが「幸せかどうか」を判断するときに重視したことは何ですか？

(あてはまるものすべてに○印)

幸福感を判断する際に重視した事項としては、「自由な時間」が最も多く 69.3%、次いで「友人関係」が 67.1%で、この両者は6割以上の割合を示しています。この2つに次いで多いのは、「家族関係」の 51.5%、「健康」の 46.5%、「部活動」の 43.1%などとなっています。

過去の調査と比較すると、「自由な時間」は、平成 27 年調査では 58.1%でしたが、平成 29 年調査では 63.1%、平成 30 年調査では 63.5%、今回 69.3%となっており、徐々にその割合が高まっています。「友人関係」は順に 67.2%、69.6%、65.7%、67.1%と推移しており大きな変化はみられません。「家族関係」についても順に 48.3%、51.3%、48.6%、51.5%と推移しており大きな変化はみられません。

図表 2-3-3 幸福感を判断する際に重視した事項（過去調査との比較）



※1：「部活動」は平成 30 年調査から選択肢に加えたため、平成 27・29 年には調査していない。

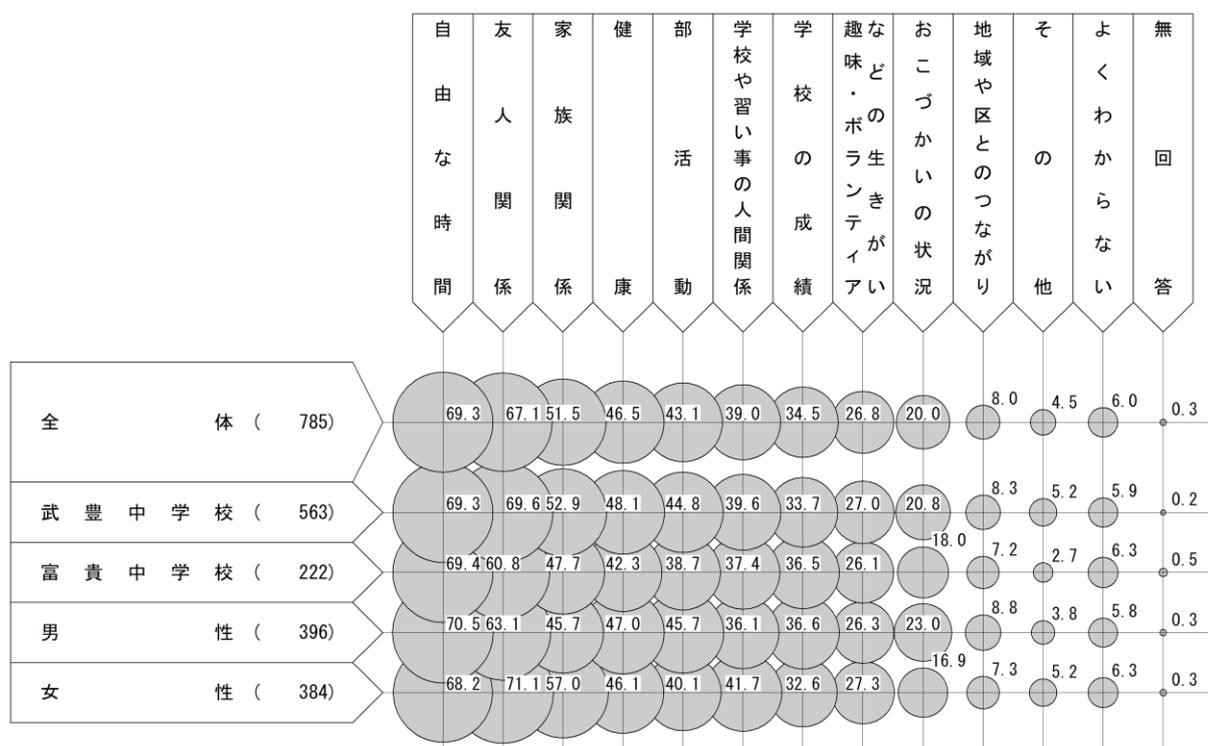
※2：「充実した余暇」は今回調査から選択肢から削除した。「趣味・ボランティアなどの生きがい」と重なるため。

以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	<p>○武豊中学校では、「友人関係」が 69.6%で最も高くなっています。富貴中学校では「友人関係」は 60.8%で、8.8 ポイント武豊中学校が上回っています。</p> <p>○おおむね両中学校ともよく似た傾向を示しており、学校による顕著な差異はみられません。</p>
性別	<p>○男性では、「自由な時間」が 70.5%で最も高く、次いで「友人関係」の 63.1%、「健康」の 47.0%の順になっており、さらに「家族関係」と「部活動」がともに 45.7%となっています。</p> <p>○女性では、「友人関係」の 71.1%が最も高く、次いで「自由な時間」の 68.2%、「家族関係」の 57.0%、「健康」の 46.1%の順になっています。</p> <p>○「友人関係」は女性の方が 8.0 ポイント高くなっていることが特徴的です。</p>

図表 2-3-4 属性別、幸福感を判断する際に重視した事項

-複数回答（該当するものすべて）-



## 2-4 家庭や学校などでの生活

### (1) 学校生活

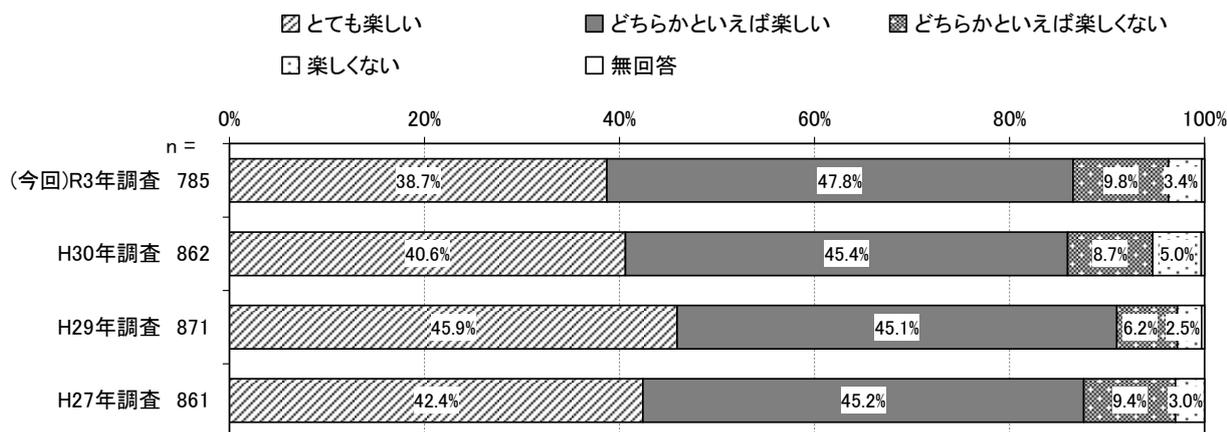
問5 学校は楽しいですか。(1つに○印)

「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」をあわせた『楽しい』の割合は86.5%、「どちらかといえば楽しくない」と「楽しくない」をあわせた『楽しくない』の割合は13.2%となっています。

『楽しい』の割合は、平成30年調査の86.0%からわずかに0.5ポイント上昇していますが、ほぼ同水準で大きな変化はみられません。なお、平成29年調査では91.0%でした。

『楽しくない』の割合は、平成30年調査の13.7%からわずかに0.5ポイントの減少となっていますが、こちらも大きな変化はみられません。なお、平成29年調査では8.7%で、平成29年調査と比較すると今回は4.5ポイントの上昇となっています。

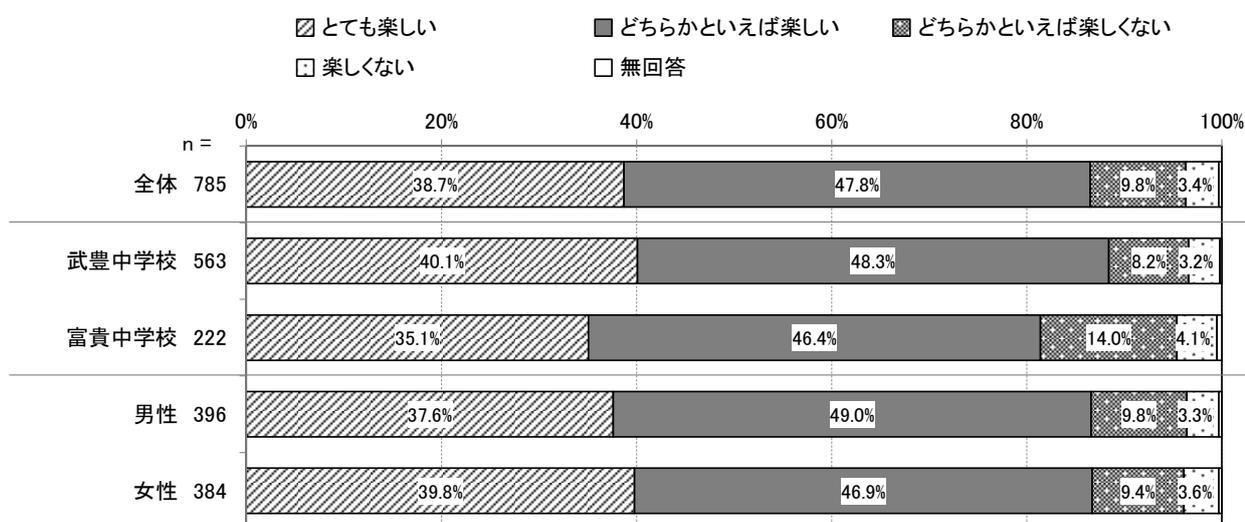
図表 2-4-1 学校生活（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	<p>○「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」をあわせた『楽しい』の割合は、武豊中学校では 88.4%、富貴中学校では 81.5%で、武豊中学校の方が 6.9 ポイント高くなっています。</p> <p>○「どちらかといえば楽しくない」と『楽しくない』の割合は武豊中学校では 11.4%、富貴中学校では 18.1%で、富貴中学校の方が 6.7 ポイント高くなっています。</p>
性別	<p>○『楽しい』の割合は、男性 86.6%、女性 86.7%でほとんど差異はみられません。</p> <p>○『楽しくない』の割合は、男性 13.1%、女性 13.0%でほぼ同数です。</p>

図表 2-4-2 属性別、学校生活



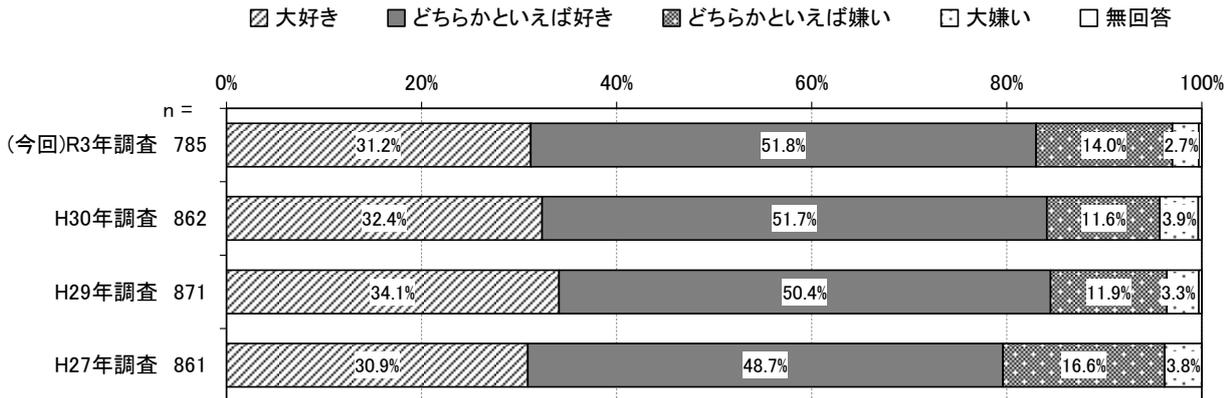
## (2) 給食

問6 給食は好きですか。(1つに○印)

「大好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた『好き』の割合は83.0%、「どちらかといえば嫌い」と「大嫌い」を合わせた『嫌い』の割合は16.7%となっています。

平成30年調査では『好き』は84.1%、『嫌い』は15.5%で、平成29年調査でも『好き』84.5%、『嫌い』15.2%で、平成30年調査、平成29年調査と比べて大きな変化はありません。

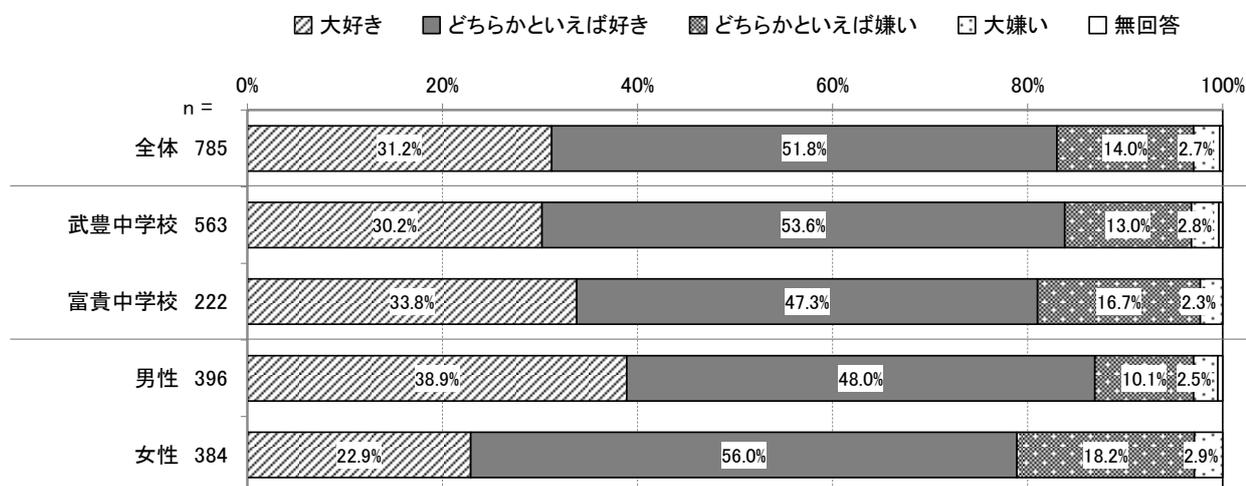
図表 2-4-3 給食（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	<p>○「大好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた『好き』の割合は、武豊中学校が83.8%、富貴中学校が81.1%で顕著な差異はみられません。</p> <p>○「どちらかといえば嫌い」と「大嫌い」をあわせた『嫌い』の割合は、武豊中学校が15.8%、富貴中学校が19.0%です。わずかですが富貴中学校が高くなっています。</p>
性別	<p>○『好き』の割合は、男性86.9%、女性78.9%で、男性の方が8.0ポイント高くなっています。また、「大好き」の割合は男性38.9%、女性22.9%で、男性の方が女性を16.0ポイント上回っています。</p> <p>○『嫌い』の割合は、男性12.6%、女性21.1%で、女性が8.5ポイント高くなっています。</p>

図表 2-4-4 属性別、給食



### (3) 地域の祭りや行事

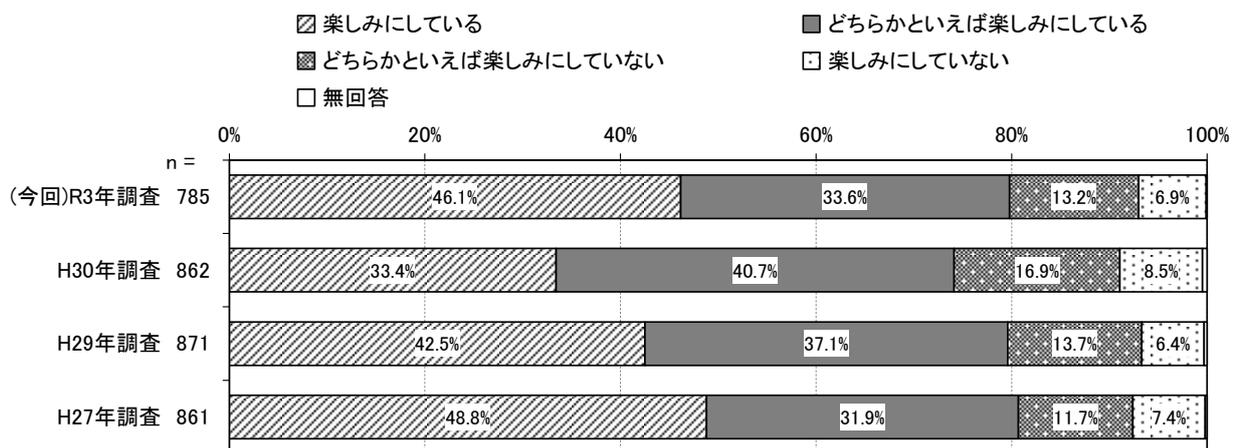
問7 「地域の祭りや行事など」を楽しみにしていますか。(1つに○印)

「楽しみにしている」と「どちらかといえば楽しみにしている」をあわせた『楽しみにしている』の割合は79.7%、「どちらかといえば楽しみにしていない」と「楽しみにしていない」をあわせた『楽しみにしていない』の割合は20.1%となっています。

平成30年調査では『楽しみにしている』は74.1%、『楽しみにしていない』は25.4%で、『楽しみにしている』は5.6ポイントの増加、『楽しみにしていない』は5.3ポイントの減少となっています。平成29年調査では、『楽しみにしている』79.6%、『楽しみにしていない』20.1%で、これと比べると、『楽しみにしている』は0.1ポイントの増加、『楽しみにしていない』は同数であり、平成29年調査とほぼ同様の結果となっています。

「地域の祭りや行事など」を楽しみにしている中学生の割合は徐々に低下する傾向がありましたが、今回の調査では上昇に転じています。

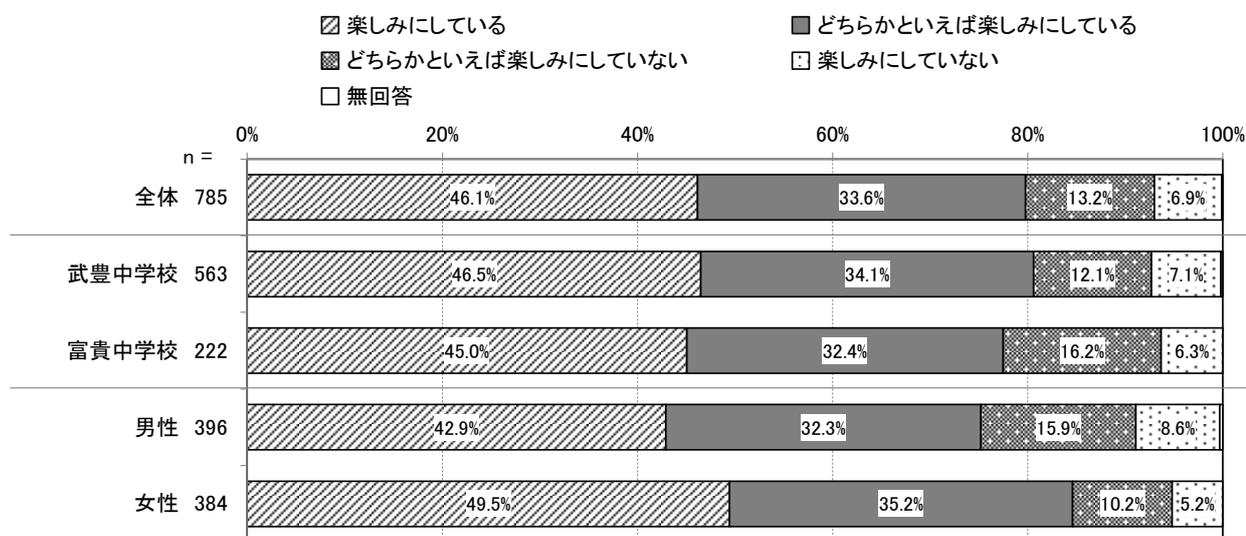
図表 2-4-5 地域の祭りや行事（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○武豊中学校では、『楽しみにしている』は80.6%、『楽しみにしていない』は19.2%、富貴中学校では、『楽しみにしている』は77.4%、『楽しみにしていない』は22.5%です。大きな相違ではありませんが、わずかに武豊中学校の方が『楽しみにしている』の割合が高くなっています。
性別	○男性では、『楽しみにしている』は75.2%、『楽しみにしていない』は24.5%、女性では、『楽しみにしている』は84.7%、『楽しみにしていない』は15.4%です。 ○『楽しみにしている』は女性の方が9.5ポイント高くなっています。

図表 2-4-6 属性別、地域の祭りや行事



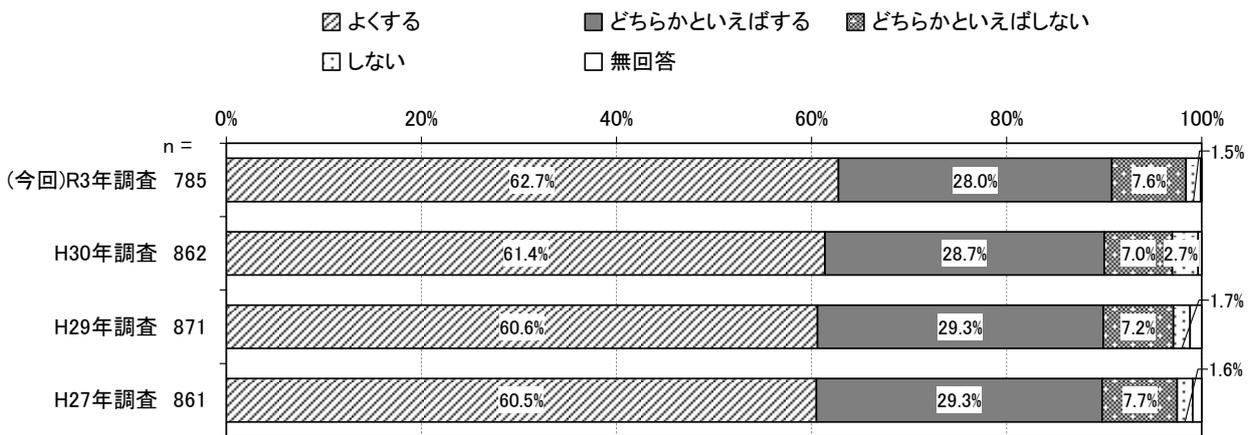
#### (4) 家族との会話

問8 日ごろから、家族とよく話をしますか。(1つに○印)。

「よくする」と「どちらかといえばする」をあわせた『する』の割合は90.7%、「どちらかといえばしない」と「しない」をあわせた『しない』の割合は9.1%となっています。

平成30年調査では『する』は90.1%、『しない』は9.7%でした。また、平成29年調査では、それぞれ89.9%、8.9%、平成27年調査では89.8%、9.3%でした。今回の結果と大きな差異はありませんが、過去調査との比較の上では、『する』の割合がわずかに増加しています。

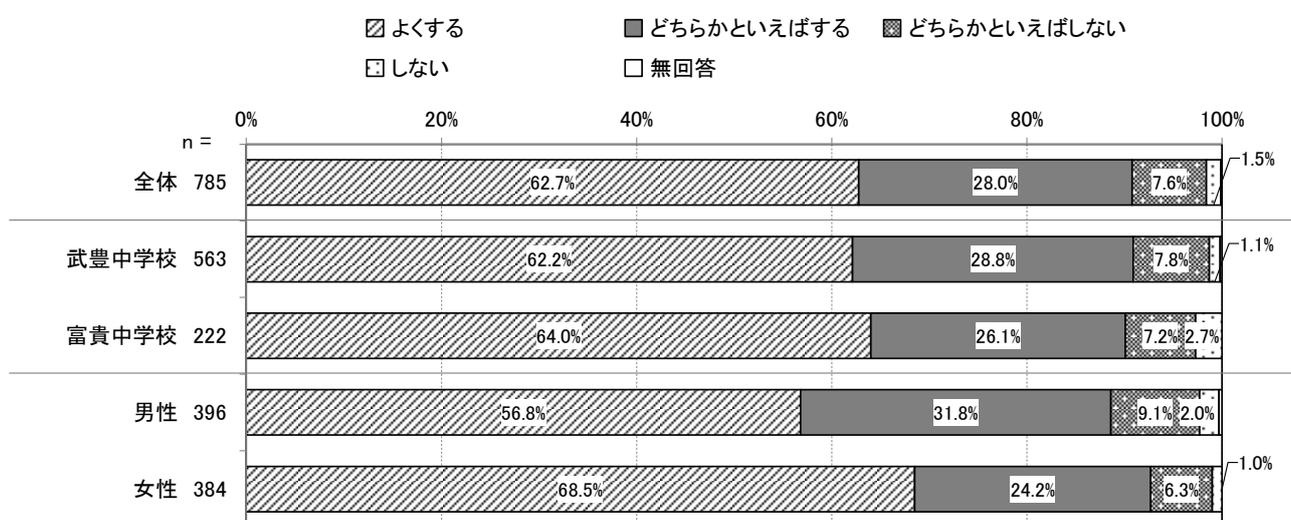
図表 2-4-7 家族との会話（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○武豊中学校では、『する』は91.0%、『しない』は8.9%となっています。富貴中学校では、『する』は90.1%、『しない』は9.9%です。両者に顕著な相違はみられません。
性別	○男性では『する』は88.6%、『しない』は11.1%、女性では『する』は92.7%、『しない』は7.3%となっています。『する』は女性の方が4.1ポイント高くなっています。 ○「よくする」で比較すると女性の68.5%に対して男性は56.8%で、女性の方が11.7ポイント高くなっています。女性の方が日ごろから家族とよく会話をしていることがうかがえます。

図表 2-4-8 属性別、家族との会話



## (5) 近所の方とのあいさつ

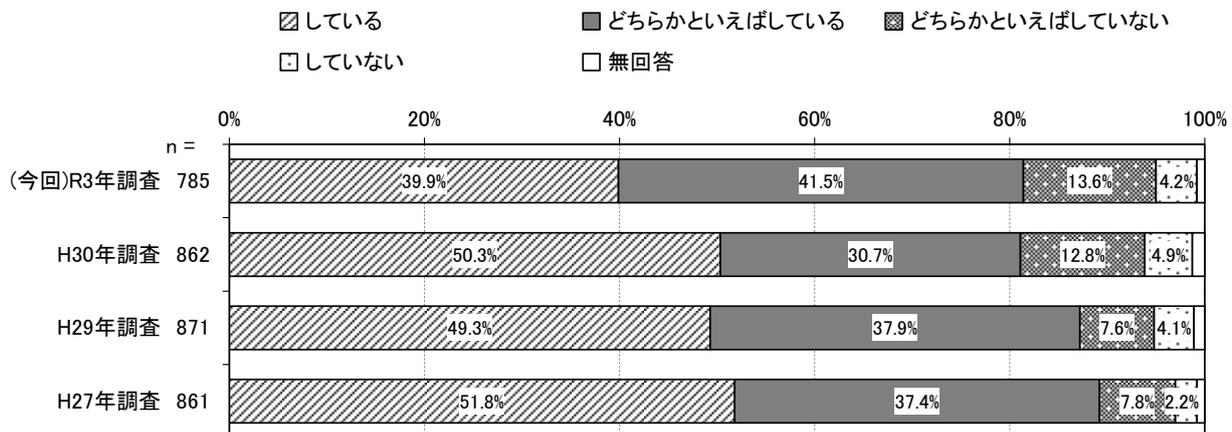
問9 近所の人をみかけたらあいさつをしていますか。(1つに○印)

「している」と「どちらかといえばしている」をあわせた『している』の割合は81.4%、「どちらかといえばしていない」と「していない」をあわせた『していない』の割合は17.8%となっています。

平成30年調査では、『している』は81.0%、『していない』は17.7%でした。今回の結果と大差はありません。なお、平成29年調査では、『している』は87.2%、『していない』は11.7%、平成27年調査では、『している』は89.2%、『していない』は10.0%となっています。

経年的には、近所の人をみかけたらあいさつをしている中学生の割合は徐々に低下している傾向をみることができます。特に、今回、「している」は39.9%となり、平成30年調査の50.3%から10.4ポイント減少しています。

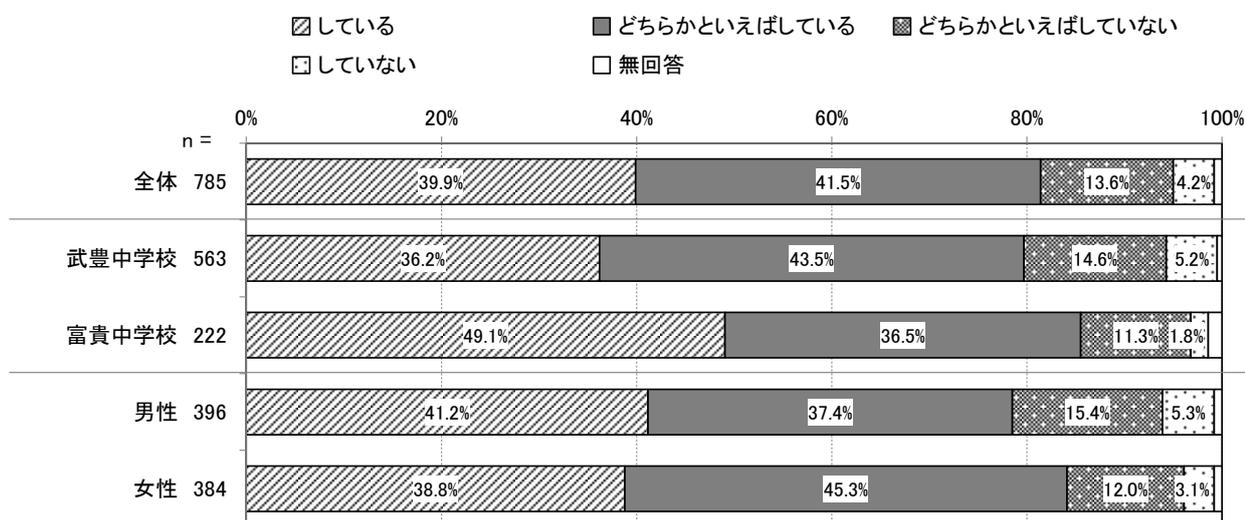
図表 2-4-9 近所の方とのあいさつ（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	<p>○武豊中学校では『している』は79.7%、『していない』は19.8%となっています。富貴中学校では、『している』は85.6%、『していない』は13.1%です。</p> <p>○富貴中学校の方が『している』は5.9ポイント高く、『していない』は6.7ポイント低くなっています。近所の人にあいさつをしていると回答する生徒の割合は富貴中学校の方が高い傾向がみられます。</p>
性別	<p>○男性では『している』は78.6%、『していない』は20.7%となっています。女性では『している』は84.1%、『していない』は15.1%です。『している』の割合は女性の方が5.5ポイント上回っています。</p> <p>○一方、「している」と回答した割合で比較すると、男性の41.2%に対して女性は38.8%で、わずかながら男性の方が2.4ポイント高くなっています。</p>

図表 2-4-10 属性別、近所の方とのあいさつ



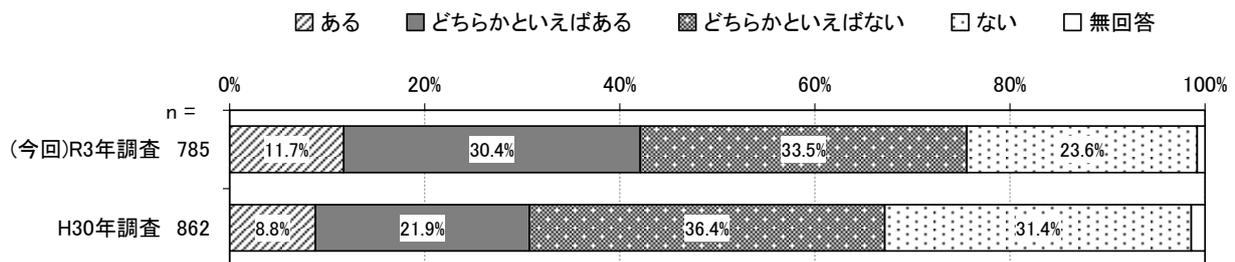
## (6) 歴史・産業への興味

問10 武豊町の歴史・産業など町のことに興味がありますか。(1つに○印)

「ある」と「どちらかといえばある」をあわせた『興味がある』の割合は42.1%、「どちらかといえばない」と「ない」をあわせた『興味がない』の割合は57.1%となっています。興味があるのは約4割です。

平成30年調査では、『興味がある』の割合は30.7%、『興味がない』の割合は67.8%でした。『興味がある』の割合は平成30年調査と比べ11.4ポイント増加しています。

図表 2-4-11 歴史・産業への興味（過去調査との比較）

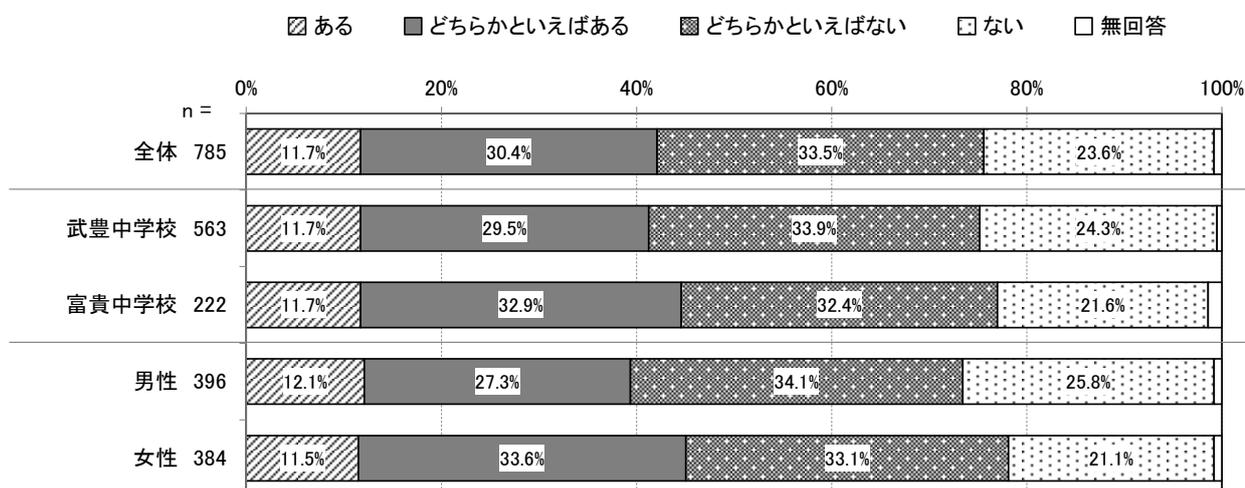


※平成30年調査で新規に設けた設問のため、平成29年、平成27年は調査していない。

以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	<p>○武豊中学校では『興味がある』は41.2%、『興味がない』は58.2%となっています。富貴中学校では『興味がある』は44.6%、『興味がない』は54.0%です。</p> <p>○富貴中学校の方が「どちらかといえばある」がわずかに3.4ポイント高くなっていますが、両中学校の間に顕著な相違はみられません。</p>
性別	<p>○男性では『興味がある』は39.4%、『興味がない』は59.9%となっています。一方、女性では『興味がある』は45.1%、『興味がない』は54.2%です。『興味がある』は女性の方が5.7ポイント高くなっています。</p> <p>○「ある」と回答した割合は、男性が12.1%、女性が11.5%で、男女間に顕著な相違はみられません。「どちらかといえばある」は、男性の27.3%に対して、女性は33.6%で、女性が6.3ポイント高くなっています。</p>

図表 2-4-12 属性別、歴史・産業への興味



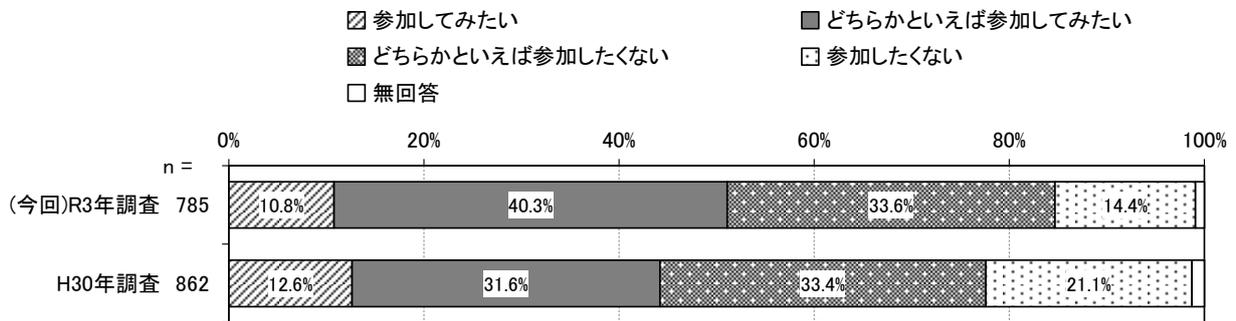
## (7) 地域活動への参加

問11 地域をよくするための活動（区の活動やボランティア団体の活動）に参加してみたいですか。（1つに○印）

「参加してみたい」と「どちらかといえば参加してみたい」をあわせた『参加してみたい』の割合は51.1%、「どちらかといえば参加したくない」と「参加したくない」をあわせた『参加したくない』の割合は48.0%となっています。『参加してみたい』と『参加したくない』の回答が拮抗しています。

平成30年調査では、『参加してみたい』の割合は44.2%、『参加したくない』の割合は54.5%でした。『参加してみたい』の割合が6.9ポイント増加しています。

図表 2-4-13 地域活動への参加（過去調査との比較）

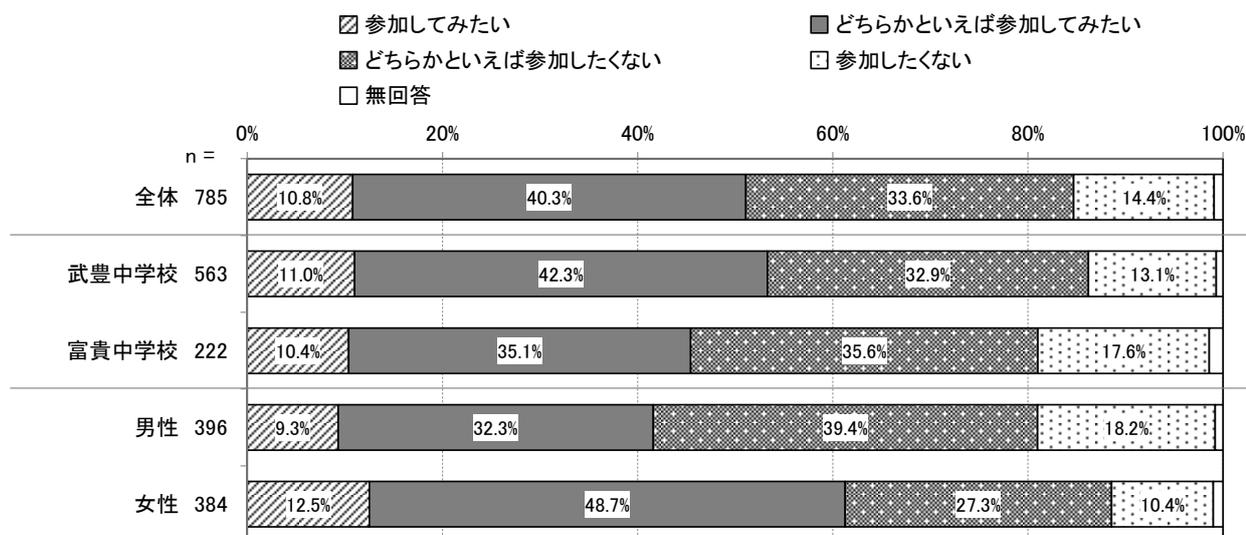


※平成30年調査で新規に設けた設問のため、平成29年、平成27年は調査していない。

以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○武豊中学校では『参加してみたい』は53.3%、『参加したくない』は46.0%となっています。富貴中学校では『参加してみたい』は45.5%、『参加したくない』は53.2%です。『参加してみたい』は武豊中学校の方が7.8ポイント高くなっています。
性別	○男性では『参加してみたい』は41.6%、『参加したくない』は57.6%となっています。女性では『参加してみたい』は61.2%、『参加したくない』は37.7%です。『参加してみたい』は女性の方が19.6ポイント高く、男性よりも女性の方が活動への参加意向が高い傾向をみることができます。

図表 2-4-14 属性別、地域活動への参加



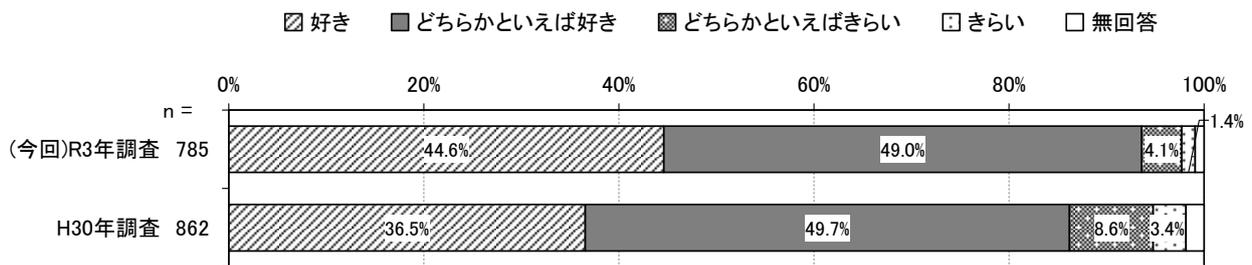
## (8) 武豊町に対する好感度（町が好きか）

問12 武豊町のことが好きですか。（1つに○印）

「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』の割合は93.6%、「どちらかといえば嫌い」と「嫌い」をあわせた『嫌い』の割合は5.5%となっています。9割以上は『好き』と回答しています。

平成30年調査では、『好き』の割合は86.2%、『嫌い』の割合は12.0%でした。『好き』の割合は前回調査と比べ7.4ポイント増加しています。

図表 2-4-15 武豊町に対する好感度（過去調査との比較）

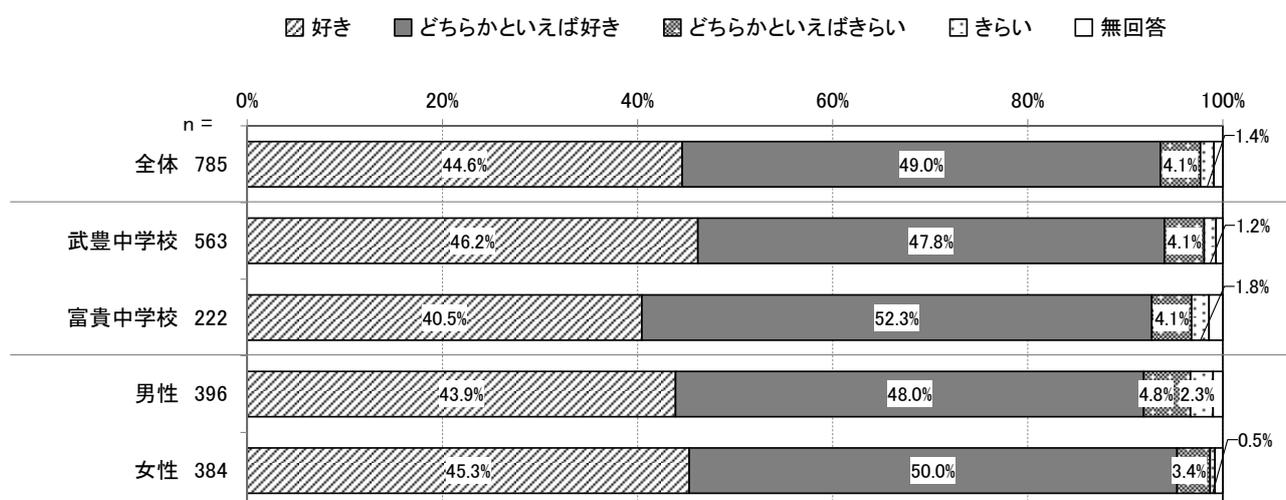


※平成30年調査で新規に設けた設問のため、平成29年、平成27年は調査していない。

以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	<p>○武豊中学校では『好き』は94.0%、『きれい』は5.3%となっています。富貴中学校では『好き』は92.8%、『きれい』は5.9%です。『好き』の割合は両中学校の間に顕著な相違はありません。</p> <p>○「好き」の割合については、武豊中学校が46.2%、富貴中学校が40.5%で、武豊中学校の方が5.7ポイント高くなっています。</p>
性別	<p>○男性では『好き』は91.9%、『きれい』は7.1%で、女性では『好き』は95.3%、『きれい』は3.9%です。男女で顕著な差異はみられません。</p>

図表 2-4-16 属性別、武豊町に対する好感度



## 2-5 自由意見

### (1) 今後のまちづくりに向けた意見・提案

問13 これから、武豊町がどんなまちになったらいいと思いますか。自由に記述してください。

今後のまちづくりに向けた意見・提案を自由に回答いただきました。

第6次武豊町総合計画の体系（まちづくりの目標・分野）に沿って、意見を整理すると回答数は以下の通りとなりました。

図表 2-5-1 今後のまちづくりに向けた意見・提案

取組分野1 都市環境	件数
1-1 市街地・住環境	161
1-2 交通基盤	36
1-3 上下水道	0
(その他)	1
計	198
取組分野2 子ども	件数
2-1 出産・子育て	19
計	19
取組分野3 学び	件数
3-1 学校教育	46
3-2 生涯学習	13
3-3 スポーツ	33
3-4 文化芸術	2
(その他)	11
計	105
取組分野4 健康・福祉	件数
4-1 健康・医療	9
4-2 地域福祉	24
4-3 高齢者福祉	2
4-4 障がい者福祉	3
計	38
取組分野5 安全・安心	件数
5-1 防災	10
5-2 防犯・交通安全	104
(その他)	39
計	153
取組分野6 産業・交流	件数
6-1 産業	130
6-2 観光・交流	43
(その他)	2
計	175

取組分野7 環境	件数
7-1 自然環境	41
7-2 生活環境	53
計	94
取組分野8 まちづくり・地域経営	件数
8-1 住民活動・地域活動（住民協働）	2
8-2 相互理解（男女共同参画・多文化共生）	11
8-3 タウンプロモーション	25
（その他）	2
計	40
取組分野9 行財政	件数
9-1 行政運営	12
9-2 財政運営	8
（その他）	4
計	24

アンケートについて	件数
計	1
その他	件数
計	159
合計	1,006